

**平成 30 年度版**

**環 境 白 書**

**沖 縄 県**

## 環境白書の発行に当たって

私たちの暮らす沖縄は、豊かな生態系を育むサンゴ礁が広がる海に散在する、大小 160 の島々からなり、大陸から分岐した地史の中で、生き物は独自の進化を遂げ、多くの固有種を含む希少な動植物が分布しています。これらの豊かな自然環境に恵まれる一方で、島しょ性に基づく地理的条件から環境負荷に脆弱であることや、県土の約 8 パーセントに及ぶ広大な米軍基地の存在が、環境に様々な影響を与えているという特徴があります。



このため、沖縄は、各種開発や経済活動等の進展による自然環境の喪失や航空機騒音等の基地から派生する問題、サンゴの大規模白化現象や海洋漂着ごみ問題など、様々な課題に直面しています。

これらの現状を踏まえつつ良好な生活環境を維持し、世界に誇る豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐことは、私たちの責務であり、環境は有限であることを理解し、負荷の少ない持続的発展が可能な循環型社会を創りあげていかなければなりません。このため、本県では、「豊かな自然環境に恵まれた安全・安心でやすらぎと潤いのある沖縄県」の実現に向けて、「第 2 次沖縄県環境基本計画」を策定し、様々な施策を実施しております。

中でも、沖縄島北部及び西表島の世界自然遺産登録については、早期の登録を目指して国や関係機関と連携を強化し、希少種の保護や外来種対策、オーバーユース対策等の遺産価値の維持と適正な利用の両立に向けて各種施策に取り組んでいるところです。

このほか、平成 31 年度に開催される第 43 回全国育樹祭に向け、大会テーマ「うけつごう 豊かな緑と みんなの笑顔」の下、各種行事に取り組んでいます。本大会を契機に、緑化活動及び森林づくりを推進し、花と緑であふれる魅力的な県土の形成を目指してまいります。

本書は、主に平成 29 年度の本県における環境の現状と実施した施策についてまとめたものです。皆様の環境への関心と理解をより深め、環境保全活動の一助となれば幸いです。

平成 31 年 3 月

沖縄県知事 玉 城 デ ニ ー